

「市営交通中期経営計画」経営目標の上方修正について

1 概要

交通局では、「市営交通中期経営計画（平成24年度～26年度）」に基づき、改善型公営企業として一般会計からの任意補助金を受けない自主自立の経営を継続しています。

このたび、26年度予算案の編成を踏まえ、同計画に掲げた経営目標のうち、当初の目標を大幅に上回る水準で達成する見込みとなった項目について、以下のとおり目標の上方修正を行います。

引き続き、さらなる経営改善に取り組み、市民のみなさまから真に必要とされる市営交通をめざして、全職員が一丸となってたゆまぬ努力を続けてまいります。

2 「市営交通中期経営計画」経営目標について

◆中期経営計画の進捗状況（26年度予算時点）

【経営目標】～私たちの約束（経営）～

事業	項目	3か年の目標
バス・地下鉄	乗車人員	累計10億人 (バス・地下鉄合計)
バス	経常利益	15億円 (3か年累計)
	経常収入	600億円 (3か年累計)
	営業収入に対する 人件費率	58%に抑制 (22年度:60%)
	有利子負債 (企業債残高)	30%削減 (▲約19億円)
地下鉄	経常利益	66億円 (3か年累計)
	経常収入	1,150億円 (3か年累計)
	営業収入に対する 人件費率	18%に抑制 (22年度:20%)
	有利子負債 (企業債残高)	10%削減 (▲約455億円)

達成見込	目標修正案
10.3億人	累計10億人 (バス・地下鉄合計)
24.6億円	25億円 (3か年累計)
605億円	600億円 (3か年累計)
58%	58%に抑制 (22年度:60%)
48%削減 (▲約29億円)	削減額を10億円加算 (48%削減)
104.1億円	105億円 (3か年累計)
1,238億円	1,150億円 (3か年累計)
18%	18%に抑制 (22年度:20%)
11%削減 (▲約508億円)	削減額を50億円加算 (11%削減)

(金額はすべて税抜)